



報道機関 各位

島根大学所蔵ニホンアシカ剥製標本が島根県指定文化財(天然記念物)へ

◆本件のポイント！

- ・国内に残るニホンアシカ剥製標本では最古のもの
- ・左前肢にラベルがあり、捕獲場所・年代などの来歴が明らかで、学術的価値が高い
- ・島根県師範学校(島根大学前身校)の教員が標本作成

◆本件の概要

令和5年12月25日(月)開催の島根県文化財保護審議会において、島根大学所蔵ニホンアシカ剥製標本を島根県指定文化財として指定するよう答申される予定です。

●新指定文化財

- (1) 種別 天然記念物(動物)
- (2)名称・員数 ニホンアシカ剥製標本 1体
- (3)所在地 島根県松江市西川津町 1060
- (4)所有者 国立大学法人 島根大学
- (5)法量等 性別:オス 年齢:幼獣 体勢:伸展腹臥位 全長:1413.0mm



島根県指定文化財として指定される見込みのニホンアシカ剥製標本

◆本件の連絡先

島根大学総合博物館アシカル(松江市西川津町 1060 生物資源科学部3号館内)
TEL 0852-32-6496

島根大学総合博物館 副館長・石田秀樹(生物資源科学部)
TEL 0852-32-6442

◇その他

- ・関連 HP の URL <https://sumuseum.blogspot.com/2009/05/3.html>

添付書類



■ニホンアシカ (*Zalophus japonicus*) について

哺乳綱食肉目アシカ科アシカ属に分類される鰭脚類。かつては日本近海に広く分布していたが、20世紀初頭には竹島などのみに生息、1950～70年代に絶滅したとされている。

■島根大学所蔵ニホンアシカ剥製標本について

- ・性別: オス
- ・年齢: 幼獣
- ・体勢: 伸展腹臥位
- ・全長: 1413.0mm
- ・捕獲地: 島根県美保関近海
- ・捕獲年月日: 1886(明治19)年2月27日
- ・備考
 - ・ニホンアシカは、既に絶滅しており、標本数が少ない。本標本は来歴がはっきりしており、希少価値・学術的価値がきわめて高い。
 - ・島根県師範学校の教員によって、ラベルが貼られた学術標本として製作され、以来、師範学校から島根大学に受け継がれてきた。教育史・科学史の点からも価値がある。

■現存するニホンアシカ剥製一覧

- ・島根大学総合博物館 所蔵標本(1体)・・・若いオス(1886年2月、美保関町で捕獲)
- ・島根県立三瓶自然館サヒメル 展示標本(天王寺動物園収蔵品)(3体)・・・オス成獣、オス亜成獣、幼獣 + (元島根県立松江北高校 所蔵標本)(1体) + (元島根県立出雲高校 所蔵標本)(1体)
- ・領土・主権展示館(東京) 展示標本(元島根県立大社高校収蔵品)(1体)
- ・島根県立しまね海洋館アクアス 展示標本(元島根県立浜田高校収蔵品)(1体)
- ・大阪府天王寺動物園 所蔵標本(3体)
- ・大阪府立岸和田高校 所蔵標本(2体)・・・幼獣(明治45年購入)、亜成獣(明治38年購入)
- ・大阪府立大手前高校 所蔵標本(1体)
- ・九州大学総合研究博物館 所蔵標本(1体)
- ・オランダ・ナチュラリス生物多様性センター 所蔵標本(3体)・・・シーボルト標本
- ・大英自然史博物館 所蔵標本(1体)